

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

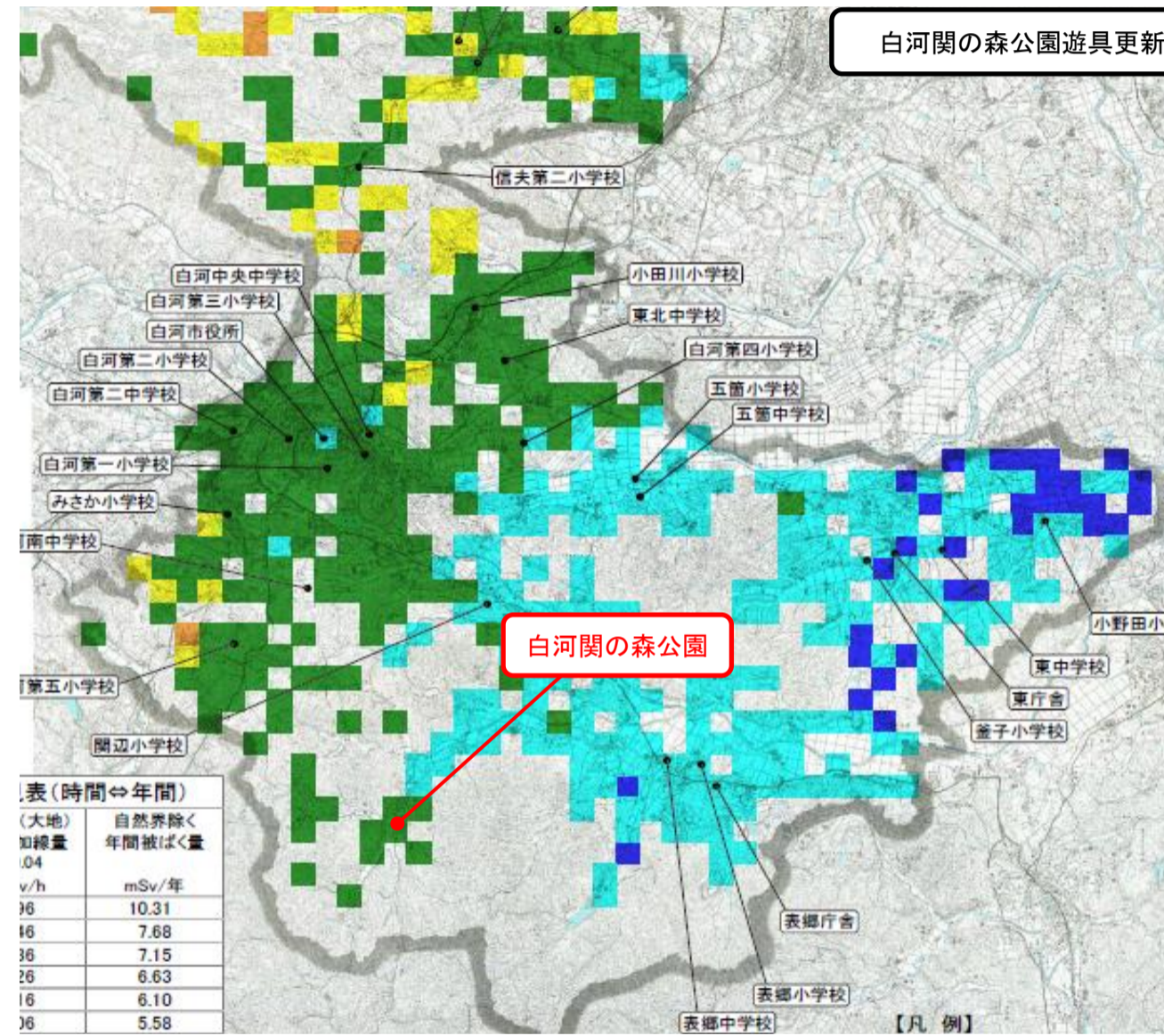
県名	福島県	交付期間	平成25～26年度	交付対象事業費	187,598千円
市町村名	白河市	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	A-1-1、◆A-1-1-1

1)事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注1, 2)

○大型駐車場を完備し広域的に利用されている白河関の森公園内の大型複合遊具の更新や休憩施設の整備により、遊具の放射能汚染に対する保護者の不安を払拭するなど、休日を中心に子育て世帯が安心して親子で遊ぶ機会を確保することで、子どもたちの健全な運動習慣の定着(肥満児童数の減少等)を図る。

【区域全体図】



【事業詳細】

(1)事業概要

白河関の森公園内にある大型遊具施設1基、幼児用複合遊具1基、スプリング遊具3基を更新することで、遊具の放射能汚染に対する保護者の不安を払拭するとともに、更なる利用促進を図るため、遊具周辺に四阿(4基)及び音響設備を整備することで、快適な寛ぎの空間を創出し、休日を中心に子育て世帯が安心して親子で遊ぶ機会の確保を図る。

(2)事業の実施状況

- 〔工期〕①白河関の森公園遊具更新事業(大型遊具施設1基、幼児用複合遊具1基、スプリング遊具3基)
平成26年1月24日～平成27年1月27日(供用開始日:平成26年8月8日)
※子どもたちの運動機会を早期に確保するため、工事が完了した部分から供用を開始した。
②白河関の森公園四阿等整備事業(四阿4基、音響設備設置)
平成25年12月24日～平成26年3月26日(供用開始日:平成26年8月8日)

〔運営状況〕運営日・時間:365日24時間利用可能
利用料金:無料

〔利用状況〕31,590人(H25)⇒47,034人(H27)【+15,444人】

(3)人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

〔避難者数〕

全国避難者システム等を基に市が独自にとりまとめた市外への避難者数は、平成25年4月5日時点では169世帯467人であったが、平成27年11月18日現在は156世帯433人と減少している。

〔肥満傾向〕

肥満度を測る指数が平成26年度から変更となったため、平成26年度と平成27年度での比較となるが、市内小学校における肥満度が20%以上の児童の割合は11.43%から10.72%に改善している。

〔体力テスト〕

市内小学校において平成25年度に実施した体力テストでは、総合評価がAまたはBの児童の割合は36.9%であったが、平成27年度と同テストの結果は40.1%となっている。

(4)その他



H26.10.26(収穫祭開催時)



H26.10.26(収穫祭開催時)



H27.7(側溝蓋掛け・芝張り後)

事業計画推進による効果・変化

- 大型複合遊具の更新や休憩施設の設置により、就学前児童を含む子どもが安心して外遊びできる環境が整備され、来園者が大幅に増加した。(H25:31,590人(4～9月)→H27:47,034人(4～9月)【平成25年度比:+15,444人】)
- 遊具の更新など、子どもたちが安心して運動できる機会の確保に努めたことで、市内の就学前児童及び小学生における肥満傾向児童の割合が減少している。(幼稚園・保育園:2.09%→1.53%、小学生:11.43%→10.72%)
- また、市内小学生を対象とした体力テストにおいても、体力が高いとされる「A判定」及び「B判定」の児童の割合が増加している。(36.9%→40.1%)

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)

- 遊具が更新されたことを伝えるパンフレットを市内公共施設等に配置するなど、引き続き当該施設の利用促進に努める。
- 子どもたちが安全に遊べるよう、側溝の蓋掛けや大型遊具施設敷地の芝張りを行った。また、本公園は本市の主要観光施設である「白河関」に隣接しており、園内には本格的な土俵を有する「相撲道場」や合宿施設、古民家が整備されており、さらに緑と花が満喫できる癒しの空間(花の里)の整備を進めるなど、里山の原風景を活かしながら施設全体の魅力を高め、当該遊具の利用促進を図るとともに、子どもたちの健全な運動習慣の定着に努める。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。